

第 4 8 回

松阪市美術展覧会

第 2 部 (美術工芸 ・ 写真 ・ 書道)

会 期 平成19年10月13日(土)～10月21日(日)

会 場 松阪市文化財センター

主 催 松阪市・松阪市教育委員会
後 援 (財) 岡田文化財団

審査委員による合評会

- ・美術工芸 10月20日(土) 午後1時00分～
- ・写 真 10月20日(土) 午後1時00分～
- ・書 道 10月20日(土) 午後2時00分～

場所・・・松阪市文化財センターギャラリーの各展示会場

第 4 部 門【 美術工芸 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
一 席	練り上げ遊糸文広口花器	印 藤 幸 恵	大台町佐原
二 席	均窯大皿	越 山 浩 司	松阪市嬉野算所町
三 席	里山のはぐくみ	森 谷 尚 子	松阪市下村町
岡田文化財団賞	白マット花器	岡 井 千 恵 美	松阪市西肥留町
奨励賞	木と松阪もめん 熊野古道	清 水 敬 久	松阪市稲木町
奨励賞	花 器	野 島 直 美	松阪市嬉野野田町
奨励賞	六角織部壺	林 光 雄	松阪市嬉野新屋庄町
奨励賞	秋	加 藤 洋 子	松阪市川井町
入 選	ひばいちゃわん	中 川 温 雄	松阪市西町

入選	櫻漆拭き大皿	中川邦雄	松阪市中央町
入選	花器 ほととぎす	北田武	松阪市嬉野町
入選	三島花器	一色美文	松阪市南町
入選	古代遺跡 古城	唐木和彦	松阪市日丘町
入選	杉八寸朱塗菓子器	高橋富子	松阪市小片野町
入選	乙女	寺井さなゑ	松阪市桜町
入選	つばめ	奥田美保	松阪市櫛田町
入選	壺	尾上隆之	松阪市虹が丘町
入選	茶碗	尾上浪恵	松阪市虹が丘町
入選	象嵌飛鉦文壺	水谷博文	松阪市早馬瀬町
入選	流紋大皿	小林斎	松阪市嬉野上野町
入選	夢造茶碗	小倉信彦	松阪市深長町
入選	蒼の壺	馬場弘美	松阪市山室町
入選	水盤	馬場弘幸	松阪市山室町
入選	「風神、雷神」図花器	大橋信良	松阪市川井町
入選	鉄赤釉花入	玉川勇次	松阪市嬉野矢下町
入選	暮秋	石川勝	松阪市嬉野黒野町
入選	紫陽花	近田清美	松阪市中万町
入選	エレガント	吉田江津子	松阪市下村町
入選	志野 花器	本間恵子	松阪市桜町
入選	均窯花入	西尾昇	松阪市嬉野中川町
入選	ノギメ天目 中皿	本川博久	松阪市嬉野森本町
入選	コンポート	松原孝子	松阪市嬉野町
入選	湖底泳錦鯉釣魚拓大皿	大森孝夫	松阪市嬉野滝之川町
入選	彩・輝・華	羽木歩	松阪市嬉野中川新町
入選	MSK	常川昭吾	松阪市川井町
入選	赤萩花入	北島美智子	松阪市嬉野小原町
入選	秋の夜ながに	田畑英子	松阪市嬉野川北町
入選	鉄釉碗	田中誠三朗	松阪市嬉野堀之内町
入選	焼ノ壺	在間暉	松阪市嬉野権現前町
入選	飛鉦紋鉢	西島哲也	松阪市嬉野黒田町
入選	祥龍	角谷征伯	松阪市大口町
入選	鉄釉花器	中里好彦	松阪市嬉野小村町
招待	赤絵草文片口鉢	立松房恵・隆司	松阪市飯高町宮前
招待	伊羅保釉壺	青木邦生	松阪市新座町
審査委員	camellia	久保田明夫	鈴鹿市津賀町
審査委員	赤富士	黒田耕三朗	四日市市京町
審査委員	粉引花入	坂口久司	多気町丹生

(順不同)

審査評

作品のレベルが年々向上しているようだが、各自の美の表現をしっかりと持って作ってほしい。小さい作品では表現が自由に出しにくい。展覧会は主として大きい方が自己表現しやすいと思う。

陶器だけでなく、色々な素材を生かした作品を期待する。素材の選択は腕が上がると自然に理解出来ると思う。

第 5 部 門【 写 真 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住所]
一 席	黄昏時	野瀬 みつ子	松阪市嬉野権現前町
二 席	帰り道	嶋岡 恭司	松阪市中央町
三 席	青春譜	松本 征夫	明和町明星
岡田文化財団賞	秋の夕暮	加藤 洋子	松阪市川井町
奨励賞	夏の日	椋 倉 勲	松阪市内五曲町
奨励賞	ほほえみ	谷口 真奈巳	松阪市南町
奨励賞	カエルの唄	前田 香代子	松阪市桜町
奨励賞	レイニー・デイ	米田 正彦	松阪市川井町
奨励賞	スコール	立岡 秀之	松阪市日丘町
奨励賞	光り遍し	菅野 薫	明和町蓑村
奨励賞	夏休み	阿部 道男	松阪市虹が丘町
奨励賞	家族	堀木 光一	松阪市中万町
奨励賞	SHIGUSA	三瀬 まこと	松阪市春日町
奨励賞	視線	朝倉 隆博	松阪市中道町
入 選	水路	杉浦 和男	松阪市獵師町
入 選	波濤	伊藤 邦郎	松阪市春日町
入 選	暑い日	伊藤 睦代	松阪市春日町
入 選	闘う	宮崎 政明	松阪市久保町
入 選	カバ	立花 浩二	松阪市桜町
入 選	来たよ!!	立花 道子	松阪市桜町
入 選	帰り道	村林 啓子	松阪市小黒田町
入 選	風の盆	森下 哲夫	多気町相可
入 選	寒行	油井 美津子	松阪市小津町
入 選	春	大川 倍未	松阪市清生町
入 選	感謝	吉田 紘	松阪市大黒田町
入 選	ホップ・ステップ・ジャンプ	西山 和子	松阪市高須町
入 選	黄昏どき	瀬田 幸平	明和町上村
入 選	門火	古林 伸一	松阪市大黒田町

入選	水面のジュエリー	上田倫代	松阪市駅部田町
入選	じゃがいも畑	浅井崇子	松阪市船江町
入選	アート・ロード	山腰千鶴	松阪市西黒部町
入選	猫のいる風景	川口乃子	松阪市大黒田町
入選	アンコールワットの印象	松本修	松阪市泉町
入選	のれん	中村右品	松阪市駅部田町
入選	湖に咲く華	達中美知子	多気町西山
入選	ベネチアの恋	山下和英	松阪市駅部田町
入選	生命の営み	森弘明	明和町金剛坂
入選	入学の日	北出守	松阪市大津町
入選	枯蓮の詩	甲元寛	松阪市駅部田町
入選	山藤咲く	古川廣男	松阪市南町
入選	激流	浅井泰三	松阪市船江町
入選	夜のメルヘンドリーム	近田幸弘	松阪市久保町
入選	木陰にいて	奥田博	松阪市小野江町
入選	紅葉の影と鯉	鈴木秀子	多気町五桂
入選	好天	川合恒市	多気町五桂
入選	興味津津	川合禮子	多気町五桂
入選	オブジェ	中川眞一	松阪市櫛田町
入選	お疲れさん	正成義男	松阪市殿町
入選	火まつり	池山正枝	松阪市船江町
入選	バイバイ	中西佳子	明和町上村
入選	子鹿物語	宮崎秀翠	松阪市久保町
入選	間	北村真佐子	松阪市垣鼻町
入選	霧氷	西川耕司	松阪市曲町
入選	とんだ ハプニング	赤塚利夫	松阪市殿町
入選	珍客	宮田多美男	大台町新田
入選	激走	池田美穂子	松阪市櫛田町
入選	ジャンプ	松本富美子	明和町明星
入選	紙吹雪	古御門徹	松阪市八重田町
入選	お稽古	東条和子	松阪市庄町
入選	落葉のころ	川口晃	多気町丹生
入選	孫の羽菜ちゃんはじめでの夏	大西せつよ	松阪市深長町
入選	慈愛	東浦良明	松阪市駅部田町
入選	迷カメラマン	伊藤英子	松阪市春日町
入選	収穫の時	竹内紀之	多気町下出江
入選	里の田植え期	乾吉郎	明和町志貴
入選	サーフィン	北村昇一	大台町上楠
入選	桜花に集う	出口量造	松阪市朝日町1区
入選	ミャンマーの女たち	石井澄男	松阪市駅部田町
入選	ファミリー	富田弘	多気町仁田

入選	幽・明	綾野利勝	多気町仁田
入選	朝霧の三本唐松	戸川貴史	松阪市山室町
入選	TAIKO	中村恵明	松阪市小津町
入選	御堂筋寸景	眞弓克彦	松阪市川井町
入選	軒下の愛	猪子智	松阪市小阿坂町
入選	たのしい仲間	増田文枝	松阪市西町
入選	過密な街	中川覚	松阪市豊原町
入選	窓辺	竹内博	松阪市大口町
入選	参列の時	小西三恵	松阪市川井町
入選	夕暮れのころ	池田稔	松阪市櫛田町
入選	あるファッション	石山一夫	大台町佐原
入選	春のよこび	木村一	松阪市久保町
入選	貨車で遊ぶ少年	牧戸秀子	松阪市伊勢寺町
入選	こかげ	鈴木久司	多気町朝長
入選	氷彩	坂本守	松阪市下村町
入選	燈花	小林美恵子	大台町新田
入選	秋とあそぶ	小林晃	大台町新田
入選	ファンタジー	大野加代子	松阪市五月町
入選	鳩と僧	山内剛	松阪市川井町
招待	街角(チュニジア)	織戸千尋	松阪市山室町
招待	出番前	谷口雅春	松阪市田原町
招待	岩礁の海	平まさる	松阪市春日町
招待	アンコール・ワット黎明	梅川紀彦	松阪市新町
審査委員	秋深し	亀山和夫	津市久居相川町
審査委員	姉弟	溝田幸輝	松阪市東久保町
審査委員	姉妹	樋口幸雄	鈴鹿市南旭が丘

(順不同)

審査評

出品点数が前年に比べやや減少しましたが、反面、内容的には全体にレベルの向上がみられました。

特に、賞の決定には甲乙がつけがたいものがありました。

ただ、モノクロの減少が残念でありました。

第 6 部 門【書道】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住所]
一 席	李陵詩	山 口 友 子	松阪市平成町
二 席	趙之謙(臨)	野 崎 麻 由	松阪市東町
三 席	百人一首	松 田 眞 千 子	松阪市岩内町
岡田文化財団賞	万葉歌	藤 木 麻 里 子	松阪市櫛田町
奨励賞	無角鐵牛 文通獻國家	吉 田 清 代 香	松阪市大黒田町
奨励賞	般若心經	中 村 み どり	松阪市光町
奨励賞	杜甫之詩	森 川 佳 子	松阪市大口町
奨励賞	與蘇武詩	勝 田 眞 美	松阪市法田町
奨励賞	三十六歌仙	寺 島 千 草	松阪市大黒田町
奨励賞	范準詩	鈴 木 美 代 子	松阪市法田町
奨励賞	菜根譚 より	森 田 容 子	松阪市櫛田町
奨励賞	姚孝錫の詩	安 休 美 千 代	松阪市肥留町
入 選	五言絶句	阿 部 和 枝	松阪市大口町
入 選	過香積寺	菅 野 加 代 子	明和町蓑村
入 選	嚴遜成之詩	岩 木 す ま 子	松阪市高町
入 選	百人一首第五十七番 紫式部	今 井 八 重 子	松阪市射和町
入 選	唐詩五言絶句 劉禹錫詩	池 村 ま ど か	松阪市射和町
入 選	百人一首	土 屋 瑞 穂	松阪市久保田町
入 選	百人一首	森 慶 子	松阪市新町
入 選	劉邈詩	大 戸 美 枝 子	松阪市立野町
入 選	百人一首	鈴 木 か よ 子	多気町五桂
入 選	月のうた	濱 口 正 子	明和町大淀甲
入 選	三十六歌仙	田 所 一 代	松阪市白粉町
入 選	唐・盧撰詩	鷺 尾 博	松阪市殿町
入 選	シルクロード詩集より	仲 井 恵 美	松阪市飯高町田引
入 選	白居易詩	山 下 絹 子	松阪市殿町
入 選	西脇順三郎の詩	結 城 勝 代	松阪市大黒田町
入 選	王良臣詩	渡 邊 照 子	明和町有爾中
入 選	梁簡文帝詩	岩 見 隆 子	明和町斎宮
入 選	竹逕	中 川 洋 子	松阪市日丘町
入 選	孟浩然詩	不 殿 富 士 子	松阪市内五曲町
入 選	梁簡文帝詩	池 端 美 佐 子	松阪市大津町
入 選	昭明太子詩	飯 田 幸 美	明和町内座
入 選	廬思道詩	中 川 律 子	松阪市櫛田町
入 選	魯范詩	市 野 智 子	松阪市大口町
入 選	魯范詩	藤 原 あ さ 子	明和町大淀甲
入 選	雪晴呈玉堂諸公詩	浅 香 晴 美	松阪市高町
入 選	梁簡文帝詩	中 村 千 代 美	松阪市駅部田町

入	選	牧水の歌	中	川	綾	乃	津市一身田大古曾		
入	選	東西門行	宮	寄	喜	美	代	多氣町相可	
入	選	三好達治の詩	珎	道	綾	華	松阪市東黒部町		
入	選	范路詩	濱	田	陽	子	松阪市大口町		
入	選	唱歌 紅葉	大	矢	玲	子	松阪市嬉野津屋城町		
入	選	杜甫之詩	上	山	ち	づ	松阪市愛宕町		
入	選	曹全碑之一節	西	尾	美	樹	子	松阪市嬉野中川町	
入	選	万葉歌	山	代	寿	子	松阪市大津町		
入	選	梁武帝詩	濱	口	直	美	明和町大淀		
入	選	無名氏詩	前	田	麻	紗	子	松阪市久保町	
入	選	島崎藤村の詩	日	野	出	照	代	松阪市桜町	
入	選	高浜虚子の句	前	川	由	美	子	松阪市大河内町	
入	選	融風拂晨宵	豊	田	敬	子	松阪市大黒田町		
入	選	閑居遣懷十首	北	浦	正	紀	松阪市西之庄町		
入	選	養心莫善於寡欲	西	川	浩	美	松阪市萌木町		
入	選	ふるさと	嶋	田	章	子	松阪市平成町		
入	選	山家集	秋	山	洋	子	多氣町五佐奈		
入	選	茶煙永日香	西	川	悦	子	松阪市春日町		
入	選	火雲方熾	中	田	惺	大台町新田			
入	選	左右逢原	道	正	純	子	松阪市小黒田町		
入	選	万葉集より	中	里	好	江	松阪市宮町		
入	選	天道無親	山	田	健	司	松阪市虹が丘町		
入	選	八字対句	奥	田	竹	三	多氣町河田		
入	選	八字対句	大	西	栄	子	多氣町弟国		
入	選	八字対句	河	村	美	知	子	多氣町油夫	
入	選	八字対句	出	江	敏	彦	多氣町相可		
入	選	八字対句	岡	田	卓	雄	多氣町相可		
入	選	万葉集	村	井	恒	子	多氣町土羽		
入	選	彭衙行	田	中	操	松阪市新松ヶ島町			
入	選	臨米元章	西	岡	沙	希	子	松阪市虹が丘町	
入	選	田中冬二の詩	中	村	由	香	松阪市久保町		
入	選	素朴な琴	小	林	俊	子	松阪市川井町		
入	選	涂渭	高	波	瀬	美	重	子	松阪市上川町
入	選	行書自書落花詩卷	佐	藤	一	葉	松阪市川井町		
入	選	米元章(臨)	小	竹	菜	穂	松阪市久保町		
入	選	田中冬二の詩	白	武	房	子	松阪市嬉野中川町		
入	選	張鎬詩	濱	口	千	代	子	松阪市獵師町	
入	選	守以静	坂	井	啓	子	松阪市大津町		
入	選	樂毅論	池	田	み	ね	子	松阪市久保田町	
入	選	王鐸臨	刀	根	登	喜	子	松阪市獵師町	
入	選	千字文	宮	本	恵	美	子	松阪市清生町	

入 選	芸舟双楫	吉 川 あ づ さ	明和町浜田
入 選	聴箏	里 見 治 徳	明和町金剛坂
入 選	江北秋陰一半開	梶 山 修	松阪市大塚町
入 選	古今和歌集より	民 谷 久 美 子	松阪市飯高町下滝野
入 選	朱存理の詩	中 山 良 政	多気町相可
招 待	鶴寿	佐 久 美 泉 涯	松阪市虹が丘町
招 待	東海司の句	中 村 小 汀	松阪市清生町
審査委員	良寛のうた	稲 垣 無 得	津市河辺町
審査委員	寧静澹泊	鬼 頭 翔 雲	松阪市駅部田町
審査委員	貫之の歌	葛 輪 啓 子	伊賀市緑ヶ丘本町 (順不同)

審 査 評

漢字作品では古典を基盤として自己表現をした一群と、師風を忠実に倣った行書体の一群に大別される。

前者は楷・行・草・篆・隸と書体も書風もバラエティーに富む。

後者は師風といえども、その背景には古典の格調の高さが十分に察知される。

建築的な構造美学と情趣的な叙情美学の二派が、一つの紙面で自己主張を繰り返すわけである。

かな・調和体部門でも、空間の美と性情の美を求めていた。

結果的に熟練した章法・強弱・潤渴・結体・抑揚・緩急等総合力に勝った作品が入賞を果たした。

技法の習練には終りはない。更なるご精進を期待したい。

なお、篆刻にも良い作品があったことを記しておきたい。

運営委員	吉 川 久美子	前 田 多香子	山 口 友 子
	山 本 静 香	森 幸 彦	前 村 実
	青 木 邦 生	織 戸 千 尋	佐久美 泉 涯

審 査 委 員

美術工芸...	黒 田 耕三朗	坂 口 久 司	久保田 明 夫
写 真 ...	亀 山 和 夫	溝 田 幸 輝	樋 口 幸 雄
書 道 ...	鬼 頭 翔 雲	葛 輪 啓 子	稲 垣 無 得